

## ≪ 地方消費税率引上げ分における使途の明確化について ≫

平成26年4月、国と地方を合わせた消費税の税率は5%から8%に改正されました。

これにより、本区の歳入である地方消費税交付金は増収となり、その増収分の地方消費税収入については、「消費税法（昭和63年法律第108号）第1条第2項に規定する経費（社会保障4経費※注1）その他社会保障施策に要する経費に充てるものとする」と地方税法（昭和25年法律第226号）第72条の116第2項に明記されています。なお、令和元年10月に実施された消費税率10%への改正による増収分も同様の取扱いとなります。

本区では、元年度決算における地方消費税率引上げ増収分の約17億7千万円を、以下の事業に充当して実施しました。

### ■元年度決算における地方消費税率引上げ分の使途（約17億7千万円）

単位：千円

対象分野	大事業名	中事業名	元年度決算額 (一般財源) ※注2	消費税 社会保障財源分	内容
子育て支援	子育て訪問支援券	子育て訪問支援券	39,749	1,775,493	誰もが安心・安全なシッターサービス等を利用できるよう、区が指定した事業者のベビーシッターサービスを一定の負担で利用できる「子育て訪問支援券」を交付した。
	児童の保育委託	児童の保育委託	3,037,504		区内在住の児童の保育を区内私立保育園及び区外公私立保育園に委託した。
	ショートステイ事業	子どもショートステイ事業	24,559		保護者の疾病その他の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難になった児童について、文京総合福祉センターの専用室において養育した。
	認証保育所運営補助	認証保育所運営補助	361,449		区内の認証保育所及び管外の認証保育所に対し運営の補助を行うことで、良好な保育環境を提供した。
	家庭的保育事業運営補助	家庭的保育事業運営補助	14,417		文京区が認定した家庭的保育者の事業運営に対して補助した。
社会福祉	社会福祉協議会補助	地域福祉事業補助	1,633	(子どもの貧困対策) 生活困窮世帯の欠食や孤食の子ども等を対象に、食事の提供等を通じた居場所づくりを行う民間団体等を支援するため、子ども食堂を実施する団体等に支援金の助成を行った。	
	生活困窮世帯学習支援事業	生活困窮世帯学習支援事業	11,927	また、生活困窮等により、学習・生活環境等に課題のある小中学生、高校生世代等に対し、学習面及び生活面の支援を総合的に行った。	
	精神保健福祉対策	精神障害者福祉手当の支給	3,850	区内に住所を有する精神障害者保健福祉手帳1級の障害者に、一定の条件の下、区独自の手当を支給することで、生活の安定を支援した。	
	障害者総合支援事業費 自立支援給付	障害福祉サービス費	657,229	障害者が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービスに係る給付その他の支援を総合的に行った。	
社会保険	介護保険制度関係経費	認知症施策総合推進事業	6,892	認知症になっても本人や家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる環境を整備するため、認知症ケアパスの作成・普及、認知症支援コーディネーターの配置、認知症サポーターの養成や実践講座の開催、認知症関係展示会の開催等の認知症施策を総合的に推進した。	
保健衛生	予防接種	定期予防接種	653,093	予防接種法に基づき、子ども・高齢者を対象とした定期の予防接種を行う。また、里帰り先等で接種した予防接種費用の公費負担を行った。	
		任意予防接種	77,125	任意予防接種（おたふくかぜ、MR1・2期接種もれ、MR2回目接種もれ、高齢者用肺炎球菌）や先天性風しん症候群対策として風しんの抗体検査及びワクチン接種の費用助成を行った。 また、子どものインフルエンザワクチンや高齢者の带状疱疹ワクチン等の予防接種費用の助成を開始し、任意予防接種の費用助成制度を充実した。	
	歯科保健	歯周疾患検診	21,531	歯周疾患予防のため、30歳・35歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳・76歳・81歳の区民に対して受診券を送付し、歯科検診を行った。	
合計			4,910,958	1,775,493	-

※注1 社会保障4経費は、消費税法第1条第2項に規定する経費であり、制度として確立された年金、医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費のことで。

※注2 決算額（一般財源）は、歳出決算額から事務費や事務職員の人件費等を除いたもので、特定財源が充当されていない経費のことで。